

クラスだより

ひよこ組

今月の目標

- ・ままごとをしてみよう。
- ・戸外に出て探索したり散歩を楽しむ。



朝晩は涼しさを感じる日もあり秋が近づいてきたように感じます。4月に入園しもうすぐ半年を迎えます。寝返りしか出来なかった子たちが「〇〇くん（〇〇ちゃん）！」自分の名前を呼ばれるとよちよちと歩いてくるようになりました。うまくバランスがとれず途中でしりもちをついてしまいます。でもすぐに立ち上がりニコニコと歩く姿から歩けるようになった喜びがすごく伝わってきます。これからの成長がますます楽しみです。

[模倣遊び・ままごとの始まり]

水やビーズなどを入れたペットボトルを水筒にみたてて「ドボドボドボ…」とコップにお茶を注ぎ、飲む真似をして遊んで見せました。そんな保育士の姿を笑って見ていた子どもたちでしたがしばらくすると保育士が持っていたコップとペットボトルに手を伸ばしてきました。そこでコップとペットボトルを手渡すと子どもたちもお茶を注ぎ飲む真似をして遊び始めました。ペットボトルのキャップをコップの中に入れてお茶を注ぐ子、とりあえずペットボトルをコップに押し当てて注いだつもりの子と姿は様々ですが「コップに入れて飲む」ことをイメージして遊ぶ姿に成長が感じられました。

模倣遊びでは「楽しそう」「やってみよう」とまます感じ、実体験する事でいろんな事を身につけていきます。これからも様々な刺激（感じる）を受け、いろんな遊びを体験していこうと思っています。





- ・ 秋ならではの自然物に触れる。
- ・ 出来る事は自分でする。

<楽しかったね！水遊び>

8月末から急に涼しくなりましたが、この夏、りす組のみんなは、水遊びをおもいきり楽しみました。プールだけでなく、ボディペインティングや泥んこ遊びも取り入れ、又、うさぎ組さんのプールにも入らせてもらいました。ボディペインティングでは、絵の具とボディソープを交ぜて体に塗ったり、手の平で机の上に塗ったり伸ばしたりして遊びました。泥んこ遊びでは、雨降りの翌日に、園庭に水たまりが出来ていたので、そこに入って泥の感触を味わいました。どちらも楽しそうに遊ぶ子もいれば、汚れる事に抵抗を感じている子もいましたが、少しでも感触を味わったり、見るだけでも一つの経験となったと思います。この夏、一人ひとりが水遊びを通して様々な発見が出来たと思います。

うさぎ組さんと一緒に>

先月に引き続き、少人数のグループでうさぎ組さん（2歳児クラス）との交流をしています。最近では、一緒に遊ぶだけでなく朝の会に参加したり、おやつを一緒に食べたりもしていて、お兄ちゃん・お姉ちゃんのする事を見て真似て、月齢の大きい子は特に刺激を受けています。小さくても異年齢児と交流する事で、今りす組の子ども達は、様々な事を吸収しているといっているので、これからもこうした機会をつくっていきたいと思います。



うさぎ組

今月の目標



- ・戸外で全身を動かして思い切り遊ぶ。
- ・友だちと関わって遊ぶ楽しさをあじわう

お盆が過ぎて、朝晩が冷え込むようになりました。夏の疲れも出てくるころかと思うので体調面には十分気をつけていきたいですね。

プール遊びを通じて、子どもたちが大きく成長したように思えます。ひとりひとりのペースや出来ることには個人差がありますが、プールに入る為の準備や片付けをしていく中で、“自分でしよう・やってみよう”という姿や“自分でしたい・やりたい”という姿が増えてきました。でもなかなか上手いかなくて困っている時もあります。そんな時は、「ここができやんからやって（教えて。）」と言ってきたり、友だちの様子をジッと見ていて真似してみたり。時には、困っている様子を見て「やったるか？」と手伝ってあげる微笑ましい光景もありました。遊びの中でも、水が少しでもかかるのが嫌だった子が平気になったり、頭から水をかけられるのが嫌だった子が「みとってな！かけてもなかへんのやで！すごいやろ！」と自信満々にシャワーを浴びることが出来るようになりました。苦手なことを克服し、次へとすすむパワーに変えている姿を見て、日々の積み重ねの大切さをあらためて感じました。また、出来るようになった喜びを一緒になって感じてもらえることは、子どもにとって、とても嬉しいことだと思います。声に出して伝えてあげたいですね。

9月になると、戸外での活動も多くなると思います。子どもたちは元気一杯体を動かして遊びます。着込み過ぎると活動しにくい事もあると思いますので、厚着にしすぎず、動きやすい服装、自分で着脱しやすい物にしていだければと思います（記名も確認しておいて下さい）。



トトロ組

今月の目標



思い切り体を動かして遊ぶ事を楽しむ。
お店屋さんごっこを通して作ることの楽しさや友だちとのやりとりに楽しむ。

3 歳児

プールは水にもだいぶ慣れてきたようで「顔をつけてみよう」と言う前までは「できやん」と言っていた子も友達の姿を見て挑戦しています。今ではほとんどの子が顔を水につけるようになってきました。「できた!」と水から顔をあげ一生懸命手で水を拭く姿がまたかわいらしいです。また手を持ってバタ足の練習を繰り返していると前までは背中をそるようにして顔に水がかからないように力が入っていた子も力を抜き体が水に浮きやすくしてバタ足をする子もいます。着脱でも保育士が手伝う事は少なく一人で着替えれる子が増えてきました。裏返して、たたむという事もとてもきれいにできる子や「早く着替える!」と毎日自分でする事で以前より早く着替えれるようになり子供たちも自分の成長を感じているようです。着脱にしても水への興味でも成長していく子どもたちです。



。子ども達の間でままごとやプリキュアごっこ、お店屋さんごっこが人気です。そこで給食のグループで自分達の好きなお店を考えてお店を出す事になりました。何のお店にするか話しあった時に「ネックレスを作りたい」や「ケーキがいい」と自分の考えを伝える子が多くて驚きました。また家に帰って「〇〇ちゃんがチョコレートケーキを作りたいって言ったからそれでいいって言った」となぜその意見に賛成したか伝える子もいました。自分の考えを持って表現できる子ども達になって欲しいと思います。かわいい作品が店頭に並ぶのが楽しみです。



4 歳児

7月につづきプールでは楽しそうに遊ぶ姿がたくさんみられました。年中さんは水が顔にかかっても平気な子はライオンさんと、少し水が苦手な子は年少さんと一緒に入ることがほとんどで、一人ひとりその時の気分などでどちらに入るのかも自分で選んで決めています。水が顔にかかっても平気な子たちは、ライオンさんたちの豪快さに負けにくいと同じように楽しんでいます。バタ足をして泳ぐ姿もみられるくらいです。少し水が苦手な子は7月に比べ水にも慣れてきたように思います。水に顔を付けるのも少しためらっていた子も「先生みてー!」と水に顔を付けてみせてくれるようにもなり、ワニ歩きでは歩くスピードが速いです。子どもたちなりに少し自信がついてきたようです。残り少ないプール遊びをおもいきり楽しみたいと思います。

トトロ組では今、給食のグループごとにわかれお店屋さんごっこのオープンに向けて頑張っています。まず最初にどんなお店やさんにするのかグループで話し合いました。「おもちゃやさんがいい!」「ひこうき作りたい!」「ネックレスやゆびわが作りたい!」などとグループのリーダーさん(ライオンさん)に自分の意見を伝える姿がありました。自分たちのお店が決まると、次は商品作りです。折り紙でひこうきを作ったり、牛乳パックでおふねやロケット、ビーズなどでネックレスやゆびわを作る姿があり、次はこうやってみよう!こうしたらかっこよくなるかな?かわいくなくなるかな?などと自分なりに考えながら作る姿もみられました。まだお店やさんの準備が始まったばかりなので、どんなお店やさんができるのかこれからが楽しみです。

- ・保育者や友達と一緒に、ルールのある運動遊びを楽しむ
- ・身近な秋の自然に興味・関心を持つ



3 歳児

プール遊びを楽しみに登園している子どもたち。プールでは、顔をつけてワニさん歩きをしたりおはじきで宝探しをしたり集団遊びをしたりして思いっきり楽しんでいる姿を見ることができました。プールの着替えなどの時も最初の頃、「できやんでやってー」とすぐ言いに来ていた子どもも自分でやってみようと頑張っている姿を多く見かけるようになりました。また、汗や水で服が濡れてしまった時もプールの時のように自分から着替え衣服を丁寧にたたんでいる様子を見て自分からしてみようとする姿が見られるようになったことがとても嬉しいです。これからも子どもたちが自分でしてみようと思えるような言葉掛けをしながら見守っていきたいと思います。そして、自分でできた時の喜びを味わい次もしたいと思えることがどんどん増えていくといいなと考えています。



小麦粉粘土の感触遊びでは、「僕もやりたい」「私も」と多くの子どもが参加していました。どろどろの感触や丸めたりできる柔らかい感触など子どもたちは夢中になりながら楽しんでいました。「やりたい」と遊びにきた子に自分が遊んでいた小麦粉粘土を少し分けてあげる優しい姿も見られました。自分のことだけ考えるのではなく友達のことも考えているのだと思い嬉しく感じました。これからも優しい気持ちや人を思いやる姿が増えていってくれることを願っています。



4 歳児



8月も毎日暑い日が続く、プールを楽しみに登園してくる子どもが多くなりました。7月からプールに入って約1か月。今では水が苦手だという子もいなくなり、年中児みんなで入ったり、時には年長児と入って楽しんだりする姿もあります。夏ならではの遊びを思いっきり楽しむ子ども達の姿を見ることができました。

また、水着に着替えるときに、近くにいる年少児が水着が着替えにくそうにしていると、手助けしてあげようとする年中児の姿を見ました。

お友達とのトラブルで、泣いている年少児に「どうしたん？なんで泣いとるの？」と優しく声をかけ話を聞き出そうとする姿も見られるようにもなりました。そんなときに、泣いている子のそばにしばらく寄り添い、言葉はなくてもなぐさめてあげようとする優しさも見ました。

日に日に今までには見られなかった子どもたちの心の成長をそばで見えてきて、そのたびに「こんなこと出来るようになったんだ！」と子どもたちの成長に驚かされています。

9月も子どもたちの色々な姿がたくさん見られることを楽しみにしているとともに、温かく、優しい気持ちが育つように保育していきたいと思っています。



ライオン組

今月の目標



- ・ 目標を達成し、喜びと自信をもつ。
- ・ 友だちと協力しあったり、役割分担をして遊ぶ。

8月は牧田保育所との交流が2回、いそやま保育園との交流が1回ありました。牧田保育所とは6月に1度交流したのですが、友だちの顔を覚えてはいるもののはずかしくて声を掛けられず、同じ保育園の子同士が集まってしまうという姿も見られましたが、プール遊びになると一緒に水かけあったり泳いだりという関わりが出てきました。

いそやま保育園との交流は海に行けるということもあり、すごく楽しみにしていました。保育園から歩いて10分のところに海があり、「いいな～ いそやまのお友だちはこんなに海が近くて」と言っていました。海ではとんとん中に入っていく子、もぐったり泳いだりする子、波打ちぎわで遊ぶ子など様々で、自分たちで自分のできる行動範囲を考えて楽しんでいる姿が見られました。

どちらの保育所も海のそばだったり、街中だったり、山の近くだったりと環境が違います。その環境の違いを知ったり、触れたりする中でたくさんの同年齢の友だちとの輪が広がっていけばいいなあと思います。

7、8月のプール遊び等を通じての着脱、くつ洗い、布団をたたむなど自分のことは自分ですということを目指してきました。9月はお泊り保育もあり初めて親と離れて友だちと一晩を過ごします。その中でもすべて自分のことは自分でしなければなりません。毎日の積み重ねもありほとんどの子が着脱、たたむということができるようになってきました。そういった生活面のことも取り入れた上で一緒に夜の散歩をしたり、遊んだりと楽しみにしているお泊り保育がいい思い出となればいいなあと思います。

